

スポーツ未来開拓会議について

1. 趣旨

スポーツ庁と経済産業省は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）の開催に向けた消費・投資マインドの向上や海外から日本への関心の高まり等を背景として、平成 27 年度に『スポーツ未来開拓会議』を開催し、我が国スポーツビジネスにおける今後の戦略的な取組を進めるための政策方針を検討した。

この検討をもとに、その後、スタジアム・アリーナ改革、スポーツオープンイノベーションの推進等の施策を進めてきたが、東京大会が終了し、さらにこの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、DXの急速な普及など、会議開催当時には想定していなかった大きな環境変化も生じている。

このため『スポーツ未来開拓会議』を再開し、改めて 2025 年あるいはその先の 2030 年以降も展望した我が国スポーツ産業の更なる成長産業化に向けた具体的な方策等を検討する。

2. 検討事項（案）

本会議では、以下大きく 3 つのテーマに沿って議論・検討を行う。

1. トップスポーツの更なる拡大

【参考】これまでの関連施策

- スタジアム・アリーナ改革、スポーツオープンイノベーション、スポーツ DX、スポーツ団体経営人材養成等の推進 等

2. 地域スポーツの発展

【参考】これまで関連施策

- スポーツツーリズム、スポーツホスピタリティ、アーバンスポーツの推進、スポーツによる地方創生、まちづくり 等

3. Well-Being の向上

【参考】これまでの関連施策

- スポーツによる心身の健康増進、障害者スポーツ推進による共生社会の実現 等

3. スケジュール

第一回：2月10日（金）15時15分～17時15分

第二回：2月27日（月）15時00分～17時00分

（6月まで毎月2回程度開催して「中間報告」を整理。その後も引き続き検討を進めて年度中の「スポーツ産業ビジョン（仮称）」のとりまとめを目指す。）

※本会議は、スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）付と経済産業省商務・サービスグループサービス政策課スポーツ産業室が共同して開催する。